

2023年11月 現在

FUJITSU Software

NETSTAGE/FIC V1.0 L71

NETSTAGE/FICは、富士通メインフレーム(PRIMEQUESTのXSP動作機構を含む)上のFNA資産を変更することなく、ネットワークのIP化を実現するソフトウェア製品です。

NETSTAGE/FICは、PRIMEQUESTおよびPRIMERGY上で動作し、富士通メインフレームがFNAonTCP/IP端末や共同センタと通信するための機能を提供します。

- ・ サーバ

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / PRIMERGY

- サーバ

Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)

1. FNA-ACパススルー通信

NETSTAGE/FICは、富士通メインフレームがFNAonTCP/IP通信端末およびTN通信端末とのFNA通信を実現するFNA-ACパススルー通信機能を提供します。

富士通メインフレーム上の応用プログラムがFNAonTCP/IP通信端末と通信できます。

富士通メインフレーム上の応用プログラムがFNAonTCP/IP通信をサポートしている端末と通信するためのパススルー通信機能を提供します。

- パススルー通信が可能な富士通メインフレーム上の主な応用プログラム
 - ・ AIM、TSS/E(AIF)、APS、Linkexpress File Transfer、HICSなど
 - ・ その他、お客様が作成した業務アプリケーションなど

富士通メインフレーム上の応用プログラムがTN通信端末と通信できます。

富士通メインフレーム上の応用プログラムがTN通信をサポートしている端末と通信するためのパススルー通信機能を提供します。

SURE SYSTEM 1台に収容していた通信資源をNETSTAGE/FIC(サーバ1台)に収容できます。

NETSTAGE/FICの通信環境定義で指定できる最大資源数は、次のとおりです。

- ・ 富士通メインフレームのIPアドレス数 : 320
- ・ 富士通メインフレーム上の通信資源数 : 10,000
- ・ 端末制御装置数 : 10,000
- ・ 端末数 : 20,000

2. LOGONサービスカスタマイズ機能

NETSTAGE/FICは、LOGONコマンドおよび端末出力メッセージをカスタマイズする機能を提供します。

LOGONコマンドをお客様独自の形式にカスタマイズできます。

NETSTAGE/FICが提供するLOGONコマンドを端末単位にカスタマイズすることができます。

お客様独自のLOGONコマンドにより、端末から富士通メインフレーム上の応用プログラムにログオンすることができます。

この機能により、LOGONコマンドの入力を簡略化することもできます。

端末出力メッセージをお客様任意の文字列にカスタマイズできます。

NETSTAGE/FICが提供する端末出力メッセージを端末単位にカスタマイズすることができます。

端末へ出力するLOGON勧誘メッセージをお客様任意の文字列にカスタマイズして、端末画面に出力することができます。

この機能により、端末ごとに端末出力メッセージを変更することもできます。

注) LOGONコマンドおよび端末出力メッセージをカスタマイズする場合、NETSTAGE/FIC LOGONサービスカスタマイズオプション プロセッサライセンス V1.0が必要です。

3. セッション振分け機能

NETSTAGE/FICは、FNA-ACパススルー通信において、サーバ負荷分散装置(注1)を介して、複数の富士通メインフレームと接続する機能を提供します。

富士通メインフレームの負荷分散(ロードシェア)を行うことができます。

サーバ負荷分散装置を介して複数の富士通メインフレームと接続し、FNAセッションを複数の富士通メインフレーム間で負荷分散することで、複数の富士通メインフレームによるロードシェア運用ができます。

富士通メインフレームの構成を意識させない1システムビュー運用ができます。

富士通メインフレームの台数、VTAM応用プログラムの配置、およびAIMプロシジャの配置などをネットワーク利用者に意識させない1システムビュー運用ができます。

注1) サーバ負荷分散装置については、関連URLの"お客さま向けURL"内の"サーバ負荷分散装置"を参照してください。

注2) セッション振分け機能を使用する場合、NETSTAGE/FIC セッション振分けオプション プロセッサライセンスV1.0が必要です。

4. 対外センタとの通信機能

NETSTAGE/FICは、富士通メインフレームが対外センタ(CAFIS、ANSER、全銀、統合ATM)と通信するためのパスルー通信機能を提供します。

富士通メインフレーム上の業務アプリケーションがCAFISセンタと通信できます。

富士通メインフレーム上のCAFISセンタ接続の業務アプリケーションを変更することなく、CAFISセンタとCAFISセンタが定めるCAFIS-TCP/IP手順による通信ができます。

注) CAFISセンタと通信する場合、NETSTAGE/FIC CAFIS接続オプション プロセッサライセンス V1.0が必要です。

富士通メインフレーム上の業務アプリケーションがANSERセンタと通信できます。

富士通メインフレーム上のANSERセンタ接続の業務アプリケーションを変更することなく、ANSERセンタとANSERセンタが定めるTCP/IP手順Ver.2(以降、ANSER-TCP/IPと記す)による通信ができます。

注) ANSERセンタと通信する場合、NETSTAGE/FIC ANSER接続オプション プロセッサライセンス V1.0が必要です。

富士通メインフレーム上の業務アプリケーションが全銀RC経由で全銀センタと通信できます。

富士通メインフレーム上の全銀センタ接続の業務アプリケーションを変更することなく、TCP/IP手順で接続された全銀RC経由で全銀センタとの通信ができます。

注) 全銀RC経由で全銀センタと通信する場合、NETSTAGE/FIC 全銀RC接続オプション プロセッサライセンス V1.0が必要です。

富士通メインフレーム上の業務アプリケーションが統合ATMセンタと通信できます。

富士通メインフレーム上の統合ATMセンタ接続の業務アプリケーションを変更することなく、統合ATMセンタと統合ATMセンタが定めるNCS-UDP手順による通信ができます。

注) 統合ATMセンタと通信する場合、NETSTAGE/FIC 統合ATM接続オプション プロセッサライセンス V1.0が必要です。

5. 業界標準手順による通信機能

NETSTAGE/FICは、富士通メインフレーム上の業務アプリケーションが業界標準手順(全銀協TCP/IPプロトコル)をサポートしている通信相手システムと通信するためのパスルー通信機能を提供します。

富士通メインフレーム上のCORDEXで動作する業務アプリケーションが、全国銀行協会の定める全銀協TCP/IPプロトコルをサポートしている通信相手システム(以降、全銀TCP/IPシステムと記す)と通信できます。

富士通メインフレーム上のCORDEXの環境を変更することなく、全銀TCP/IPシステムと通信ができます。

注) 全銀TCP/IPシステムと通信する場合、NETSTAGE/FIC 全銀TCP/IPオプション プロセッサライセンス V1.0が必要です。

6. 運用保守機能

NETSTAGE/FICは、以下の運用保守機能を提供します。

通信環境定義を動的に変更できます。

システム運用中に通信環境定義の追加/削除を行うことができます。

複数の通信環境を定義できます。

・平日用/休日用の通信環境定義を用意し、起動時に利用する通信環境定義を選択することで、曜日により運用を変更することができます。

通信のトレースログを採取できます。

以下の通信のトレースログを採取することができます。

- ・富士通メインフレームとの通信
- ・FNAonTCP/IP通信端末との通信
- ・CAFISセンタとの通信
- ・ANSERセンタとの通信
- ・全銀RC経由の全銀センタとの通信
- ・統合ATMセンタとの通信
- ・全銀TCP/IPシステムとの通信

トレースログをマスキングして採取することができます。

通信のトレースログ内のお客様の秘密情報をマスキングして採取することができます。

7. 高信頼/高可用性機能

NETSTAGE/FICは、高信頼/高可用性システムとして以下のようなシステムを構成することができます。

PRIMEQUEST/PRIMERGYや富士通メインフレームのホットスタンバイ運用が可能です。

1) PRIMEQUEST/PRIMERGYホットスタンバイ



PRIMECLUSTERを使用したPRIMEQUEST/PRIMERGYのホットスタンバイ運用ができます。
 PRIMEQUEST/PRIMERGY(待機)のNETSTAGE/FICは、待機状態で起動します。
 運用側が異常となった場合、PRIMECLUSTERは、NETSTAGE/FIC(待機)に対して運用状態への移行を指示します。
 待機側のNETSTAGE/FICは、富士通メインフレームと端末/共同センタとの再接続に備え、資源の活性化を行い、速やかに運用状態へ移行します。

2) 富士通メインフレームホットスタンバイ



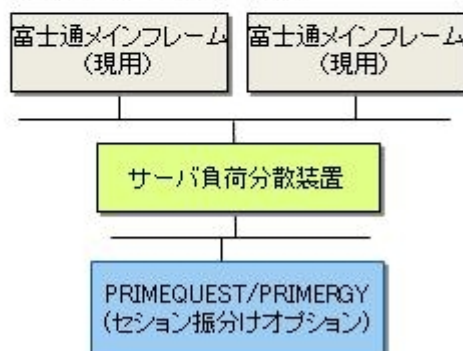
PRIMECLUSTER GLSおよび富士通メインフレーム上のNETSTAGE/AGS、VTAM-G TISPを使用した富士通メインフレームのホットスタンバイ運用ができます。
 PRIMECLUSTER GLS は、NETSTAGE/AGS、VTAM-G TISPから、ダウンした富士通メインフレーム情報を通知され、NETSTAGE/FICへダウンした富士通メインフレームの情報を通知します。
 NETSTAGE/FICは、ダウンした富士通メインフレーム(現用)とのFNAセッションを切断することにより、端末/共同センタとの接続を切り、端末および共同センタからの再接続に備えます。

3) 富士通メインフレームおよびPRIMEQUEST/PRIMERGYホットスタンバイ



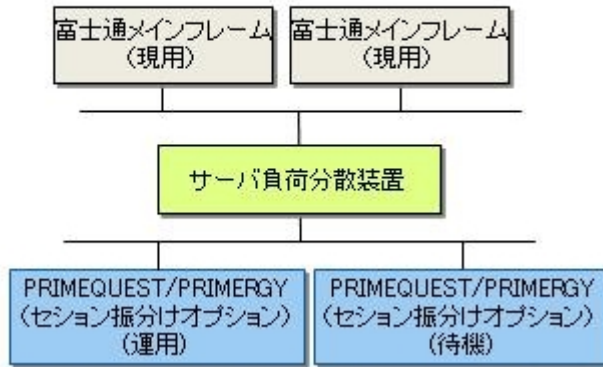
富士通メインフレームのホットスタンバイと同時にPRIMEQUEST/PRIMERGYのホットスタンバイ運用ができます。

4) 富士通メインフレームのロードシェア



セッション振り分け機能を利用して富士通メインフレームのロードシェア(負荷分散)運用ができます。

5) 富士通メインフレームのロードシェアおよびPRIMEQUEST/PRIMERGYホットスタンバイ



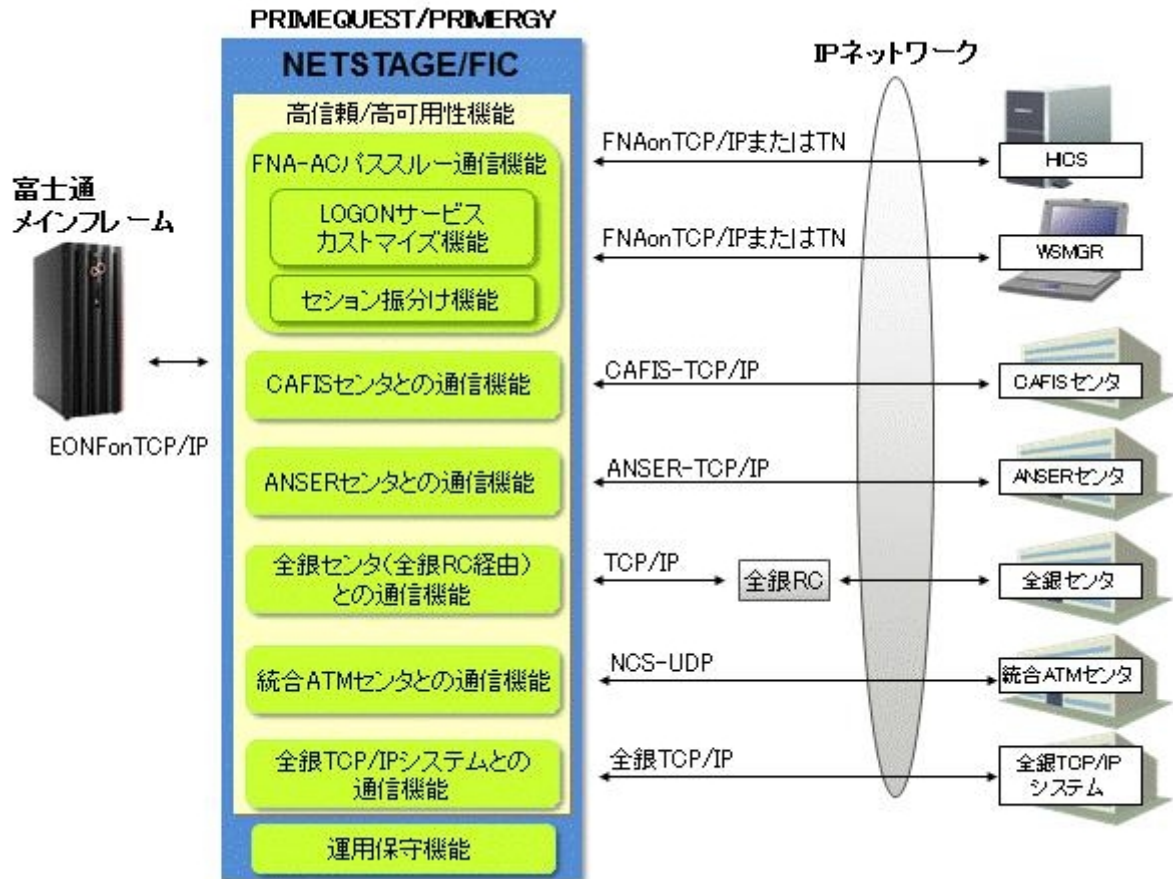
富士通メインフレームのロードシェアと同時に、PRIMECLUSTERを使用したPRIMEQUEST/PRIMERGYのホットスタンバイ運用ができます。

伝送路を二重化した信頼性の高いネットワークの構築が可能です。

LANの障害発生に備え、伝送路を二重化した信頼性の高いネットワークを構築することが可能です。

PRIMECLUSTER GLSおよび PRIMECLUSTER GLS GS連携オプションを使用し、伝送路を二重化したシステムが構築できます。

セッション振分け機能を利用する場合、PRIMECLUSTER GLSを使用した、伝送路を二重化したシステムが構築できます。



V1.0L70からV1.0L71の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)対応

Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)に対応します。

- ・ オンラインマニュアル

- ・ NETSTAGE/FIC 説明書
- ・ NETSTAGE/FIC 説明書 LOGONサービスカスタマイズオプション編
- ・ NETSTAGE/FIC 説明書 セッション振分けオプション編
- ・ NETSTAGE/FIC 説明書 CAFIS接続オプション編
- ・ NETSTAGE/FIC 説明書 ANSER接続オプション編
- ・ NETSTAGE/FIC 説明書 全銀RC接続オプション編
- ・ NETSTAGE/FIC 説明書 統合ATM接続オプション編
- ・ NETSTAGE/FIC 説明書 全銀TCP/IPオプション編

【メディア】

- NETSTAGE/FIC メディアパック V1.0L71

【ライセンス】

- NETSTAGE/FIC プロセッサライセンス V1.0 (*1)
- NETSTAGE/FIC LOGONサービスカスタマイズオプション プロセッサライセンス V1.0 (*2)
- NETSTAGE/FIC セッション振分けオプション プロセッサライセンス V1.0 (*3)
- NETSTAGE/FIC CAFIS接続オプション プロセッサライセンス V1.0 (*4)
- NETSTAGE/FIC ANSER接続オプション プロセッサライセンス V1.0 (*5)
- NETSTAGE/FIC 全銀RC接続オプション プロセッサライセンス V1.0 (*6)
- NETSTAGE/FIC 統合ATM接続オプション プロセッサライセンス V1.0 (*7)
- NETSTAGE/FIC 全銀TCP/IPオプション プロセッサライセンス V1.0 (*8)

*1:NETSTAGE/FICの各種機能を使用する場合に必要なライセンスです。

*2:LOGONコマンドおよび端末出力メッセージをカスタマイズする機能を使用する場合に必要なライセンスです。

*3:セッション振分け機能を使用する場合に必要なライセンスです。

*4:CAFISセンタとの通信機能を使用する場合に必要なライセンスです。

*5:ANSERセンタとの通信機能を使用する場合に必要なライセンスです。

*6:全銀RC経由の全銀センタとの通信機能を使用する場合に必要なライセンスです。

*7:統合ATMセンタとの通信機能を使用する場合に必要なライセンスです。

*8:全銀TCP/IPシステムとの通信機能を使用する場合に必要なライセンスです。

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(CD-ROM等)のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおり必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合、コアの総数に特定の係数を乗じた数(小数点以下端数切上げ)分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software (ライセンス)」内、「富士通製ミドルウェア商品のライセンス体系について」を参照してください。

3. クラスタ運用時の購入方法について

NETSTAGE/FICプロセッサライセンスは運用系サーバごとに必要です。待機系サーバのライセンスの購入は不要です。

各オプション機能のプロセッサライセンスは、それぞれの機能を運用として使用するサーバごとに必要です。

運用系サーバ内でも待機運用するオプション機能については、ライセンスは不要です。

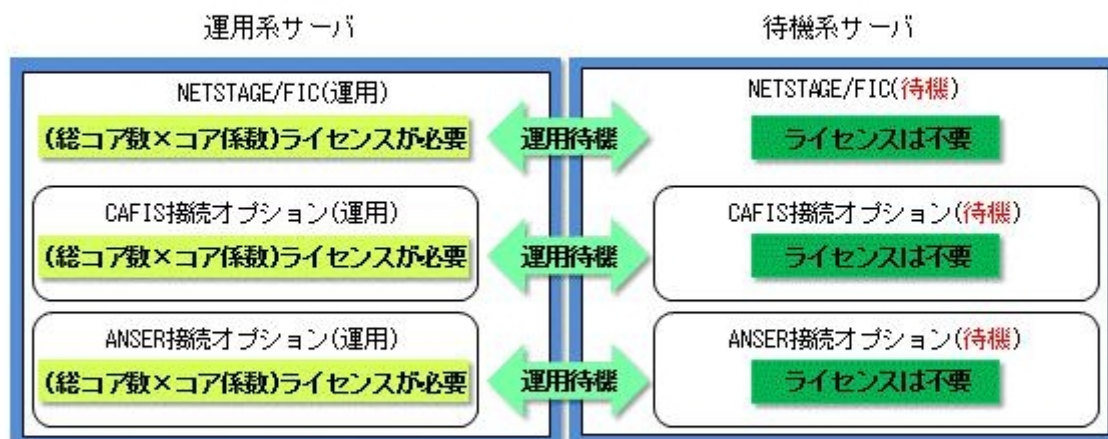
以下にシステム構成例と必要なプロセッサライセンスの購入例を示します。

図内のオプション機能名も例として記載しています。

例1) 運用待機構成 (1:1) の場合に必要となるライセンス

〔システム構成例〕

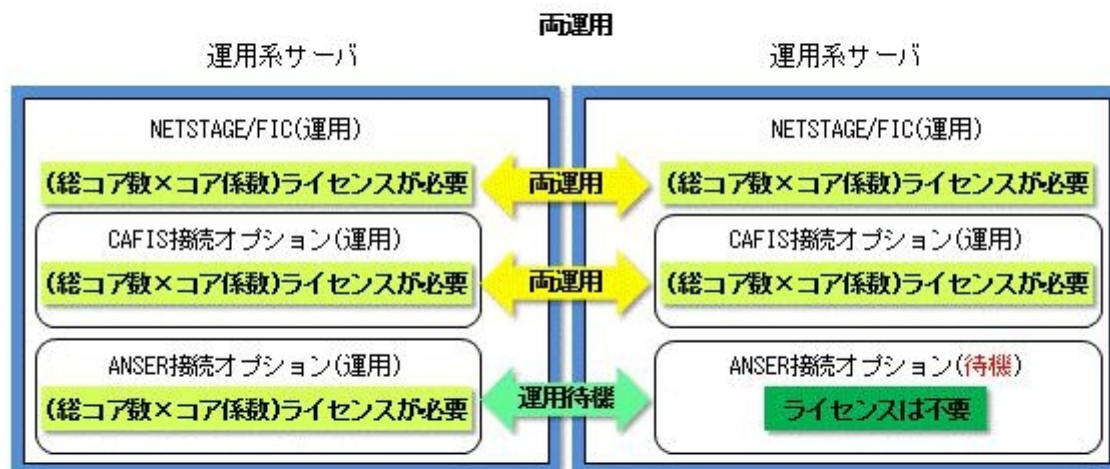
- ・運用系サーバ(2コア、2CPU構成) = 1台
 - ・待機系サーバ(2コア、2CPU構成) = 1台
 - ・総コア数(1台分) : 2コア × 2CPU = 4コア
 - ・必要なプロセッサライセンス数(1台分) = (総コア数) × (コア係数)
- コア係数とは、マルチコアプロセッサにおける、コアの総数に乘じる係数です。



例2) 両運用構成の場合に必要なライセンス

〔システム構成例〕

- ・運用系サーバ(2コア、2CPU構成)：2台
- ・総コア数(1台分)：2コア × 2CPU = 4コア
- ・必要なプロセッサライセンス数(1台分) = (総コア数) × (コア係数)
コア係数とは、マルチコアプロセッサにおける、コアの総数に乘じる係数です。
- ・ANSER接続オプションを運用待機とする場合の例



4. V1.0L70以前からのレベルアップについて

V1.0L70以前の本商品をお持ちの場合、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新レベルを提供いたします。(お客様からのご要求が必要です。)

「SupportDesk」を導入されていない場合、新レベル商品を改めてご購入頂く必要があります(価格の優遇はございません)のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

1. 高信頼/高可用性機能を利用する場合

PRIMEQUEST/PRIMERGYのホットスタンバイ運用を行う場合、以下のいずれかの製品が必要です。

- PRIMECLUSTER HA Server 4.3
- PRIMECLUSTER Clustering Base 4.3

富士通メインフレームのホットスタンバイ運用をする場合、以下の製品が必要です。

- PRIMECLUSTER GL 4.3
- PRIMECLUSTER GL GS連携オプション 4.3

【MSP】

- OS IV/MSP NETSTAGE/AGS V11L10 DLIB以降

【XSP】

- OS IV/XSP NETSTAGE/AGS V11L10 DLIB以降

伝送路を二重化構成とする場合、以下の製品が必要です。

- PRIMECLUSTER GL 4.3
- PRIMECLUSTER GL GS連携オプション 4.3(セッション振分けオプション使用時は不要です。)

なし

1. Intel64環境での動作について

本商品は、以下のディストリビューションの環境で、64ビットモードで動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

2. 富士通メインフレームの連携製品について

富士通メインフレームの連携製品は以下のとおりです。

必須製品

【MSP】

- ・ OS IV/MSP VTAM-G V30L20(C98061のPTF以降) (*5)
- ・ OS IV/MSP VTAM-G TISP V10L10(C98061のPTF以降) (*5)
- ・ OS IV/MSP NETSTAGE/OC V10L10 DLIB 以降

*5 高信頼/高可用性機能を使用する場合

- ・ OS IV/MSP VTAM-G V30L20(C05091のPTF以降)
- ・ OS IV/MSP VTAM-G TISP V10L10(C05091のPTF以降)

【XSP】

- ・ OS IV/XSP VTAM-G V30L10(V98061のPTF以降) (*6)
- ・ OS IV/XSP VTAM-G TISP V10L10(V98061のPTF以降) (*6)
- ・ OS IV/XSP NETSTAGE/OC V10L10 DLIB 以降

*6 高信頼/高可用性機能を使用する場合

- ・ OS IV/XSP VTAM-G V30L10(V05091のPTF以降)
- ・ OS IV/XSP VTAM-G TISP V10L10(V05091のPTF以降)

3. 全銀ベーシック/JCA手順による通信機能について

本商品にて、業界標準手順(全銀ベーシック/JCA手順)をサポートしている通信相手システムと通信するためのパススルー通信を検討している場合、弊社営業/SEにお問い合わせください。

お客様向けURL

- **富士通メインフレームのソフトウェア製品一覧**

富士通メインフレームのソフトウェア製品の情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/mainframe/g21/software/soft/>

- **FUJITSU Software (ソフトウェアの一覧表 (システム構成図) と各種対応状況)**

価格/型名の一覧 (システム構成図) を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- **FUJITSU Software (インフォメーション&ダウンロード)**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>

- **サーバ負荷分散装置**

サーバ負荷分散機能を有するネットワークサーバIPCOM EXシリーズの製品情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/network/security-bandwidth-control-load-balancer/ipcom/>